

授業科目名： 授業実践演習（中等）	教員の免許状取得のため の選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：仲 久徳 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特になし		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 ・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 ・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。 			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価の方法と技術を理解する。 ・授業コミュニケーションを中心とした授業の設計ができる。 ・授業コミュニケーションを中心とした模擬授業ができる。 ・授業コミュニケーションを中心とした学習指導案が書ける。 			
<p>授業の概要</p> <p>テキストにおいて、授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価の方法と技術を学び、スクーリングにおいて、授業コミュニケーションに着目した授業について、実際に授業をデザインし、模擬授業を通して相互に評価・検討しながら、効果的な授業づくりについて学ぶ。主に授業実施経験のない学生を対象とする。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス</p> <p>第2回：授業デザインの基礎①－目標の分析・設定と評価規準・基準の設定</p> <p>第3回：授業デザインの基礎②－教材研究</p> <p>第4回：授業デザインの基礎③－指導形態、指導方法、指導過程</p> <p>第5回：授業運営の方法と技術①－リーダーシップ、人間関係</p> <p>第6回：授業運営の方法と技術②－授業マネジメント</p> <p>第7回：授業運営の方法と技術③－授業コミュニケーション</p> <p>第8回：授業評価の方法と技術①－量的分析</p> <p>第9回：授業評価の方法と技術②－質的分析</p> <p>第10回：授業実践①－授業デザイン</p> <p>第11回：授業実践②－模擬授業</p> <p>第12回：授業実践③－相互評価</p> <p>第13回：授業実践④－学習指導案の作成</p> <p>第14回：授業研究と授業改善</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p>			

*スクーリングでは、第10回～第13回を実施する。

教科書

(1) 稲垣 忠・鈴木 克明 編著 (2015) 『授業設計マニュアル Ver.2-教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房

参考文献

- (1) 佐藤 学 (2010) 『教育の方法』左右社
- (2) 田中耕治 他 (2012) 『新しい時代の教育方法』有斐閣
- (3) 西岡加名恵 他編 (2015) 『新しい教育評価入門』有斐閣
- (4) 秋田喜代美 『学びの心理学 授業をデザインする』左右社 2012年

学生に対する評価：

レポート (25%)、スクーリング (25%)、科目修得試験 (50%) の割合で総合して評価する。